

令和6年度
第2期おかやま創生総合戦略
効果検証
(令和5年度実績)

令和6(2024)年11月
岡山県

「第2期おかやま創生総合戦略」効果検証の概要

基本目標と重要業績評価指標（KPI）の達成状況を適切に把握し、対策の効果を検証した上で、必要な見直しと改善を図ることにより、翌年度の取組に生かしていくPDCAサイクルを実施する。

なお、「第2期おかやま創生総合戦略」（以下、「第2期創生戦略」という。）は、県の最上位計画である「第3次晴れの国おかやま生き活きプラン」（以下、「プラン」という。）の各種施策を基本としていることから、検証に当たっては行政評価の結果を活用して行う。

【対策（4）の検証】

基本目標の進捗状況と政策パッケージの検証結果を踏まえ、対策の効果を検証する。

【政策パッケージ（15）の検証】

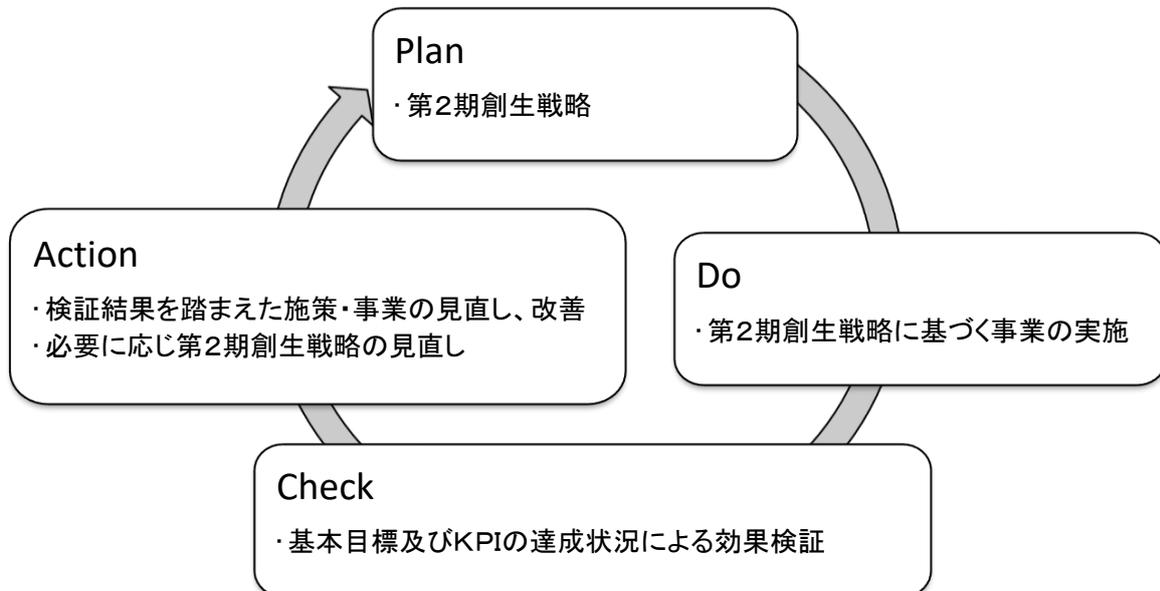
KPIの達成状況と推進施策の評価結果（プランの施策評価による）を踏まえ、政策パッケージの効果を検証する。

【KPI（41※）の達成状況】

年度ごとにの達成率と達成度を算出する（プランにおける生き活き指標の評価方法に同じ）。

※重複分（地域おこし協力隊の新規着任数）を含む。

PDCAサイクル

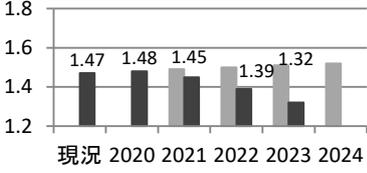


対策1 若い世代の希望をかなえる少子化対策の推進(自然減対策)

基本目標1	若い世代の結婚から子育てまでの希望をかなえる
基本目標の概要	合計特殊出生率が伸び悩み、出生数の減少に歯止めがかからない中、結婚しない理由としては、「適当な相手に出会わないため」が最も多く、また、理想の子ども数と予定する子ども数に差が生じている。さらに、核家族化の進行、共働き家庭の増加、地域のつながりの希薄化などによる、子育てに対する不安や負担感、孤立感の解消のため、結婚、妊娠・出産、子育てのさらなる支援に総合的に取り組む必要がある。

1 対策

(1) 数値目標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
合計特殊出生率 	現況値 2019年	目標値	目標値	1.49	1.50	1.51	1.52
	1.47	1.52	実績値	1.45	1.39	1.32	
			達成率(%)	97.3	92.7	87.4	
	単位	—	達成度	3	3	2	
	指標の説明	1人の女性とその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当したもの					

(2) 検証結果

・社会全体で結婚や子育てを応援する気運を醸成し少子化対策を推進するため、結婚支援施策の一つとして「おかやま縁むすびネット」の普及、利便性向上を図ったほか、従業員の仕事と家庭の両立支援に積極的な「アドバンス企業」の認定、保育士・保育所支援センターにおける潜在保育士の掘り起こしときめ細かなマッチング等に取り組んだ。

・数値目標である「合計特殊出生率」は、婚姻件数が年々減少している影響もあり、全国の1.20よりも高かったものの、目標値を下回る結果となった。全国順位は20位、中国地方では5位となっている。

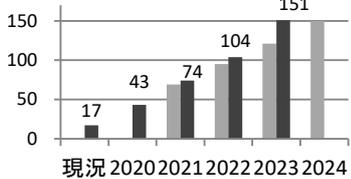
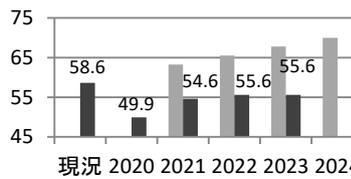
・重要業績評価指標（KPI）については、『おかやま子育て応援宣言企業のうち、従業員の仕事と家庭の両立支援に積極的な「アドバンス企業」認定数』をはじめ、「おかやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数」、「放課後児童クラブ実施箇所数」で目標を達成しているが、「妊娠と年齢の関係について正しく知っている県民の割合」などで目標を達成できなかった。

・結婚支援の一層の強化や、企業と連携した男女ともに安心して子育てと仕事を両立できる職場環境づくりを進めるとともに、子育てに対する不安や負担感、孤立感の解消のため、社会全体で子育てを応援する気運を醸成し、結婚から妊娠・出産、子育てまで、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組み、若い世代の結婚から子育てまでの希望をかなえる環境づくりを強力に進めていく必要がある。

2 政策パッケージ

<1-① 次世代育成に向けた気運の醸成>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

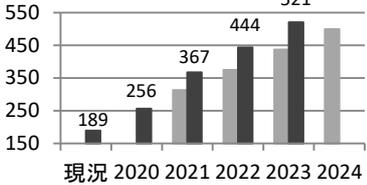
指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
おかやま子育て応援宣言企業のうち、従業員の仕事と家庭の両立支援に積極的な「アドバンス企業」認定数  <p>現況 2020 2021 2022 2023 2024</p>	現況値 2019年度	目標値	増加数	52	78	104	133
			目標値	<69>	<95>	<121>	<150>
	17	150	増加数	57	87	134	
			実績値	<74>	<104>	<151>	
	単位	社	達成率(%)	109.6	111.5	128.8	
達成度			4	4	5		
指標の説明	おかやま子育て応援宣言企業のうち、従業員の仕事と家庭の両立支援に特に積極的な「アドバンス企業」認定数(達成率は現況値からの増加数で算出)						
妊娠と年齢の関係について正しく知っている県民の割合  <p>現況 2020 2021 2022 2023 2024</p>	現況値 2019年度	目標値	目標値	63.2	65.5	67.8	70.0
			実績値	54.6	55.6	55.6	
	58.6	70.0	達成率(%)	86.4	84.9	82.0	
			達成度	3	3	3	
	単位	%					
指標の説明	20～34歳独身の男女を対象とした調査結果						

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・ 県中小企業団体中央会や県庁関係部局と連携し、制度の周知に努めたことにより、『おかやま子育て応援宣言企業のうち、従業員の仕事と家庭の両立支援に積極的な「アドバンス企業」認定数』は目標を上回る151社となっている。
- ・ 中高生へ妊娠・出産等の正しい知識の普及啓発を実施し、若い世代が妊娠・出産を視野に入れたライフプランを構築する機会を提供した。また、おかやま妊娠・出産サポートセンターにおいて、専門的な相談に応じるなど、プレコンセプションケアの推進にもつなげた。
- ・ 女性の就業を支援するための講座を開催し、就職活動に役立つ情報提供を行った。また、男性の家庭生活参画促進セミナーや企業への専門家派遣などの実施により、家庭・企業における男女共同参画への意識啓発やワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を推進した。
- ・ 若者の再就職、再入社等を応援することを県内企業が宣言する「おかやま若者再チャレンジ応援宣言企業」の促進や、県内経済団体等に対し、若年者の正社員採用等に関する働きかけ等を行った。

<1-② 結婚の希望をかなえる環境づくり>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

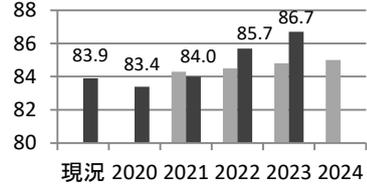
指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況					
			2021	2022	2023	2024		
おかもやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数 	現況値 2019年度	目標値	増加数	124	186	248	311	
			目標値	<313>	<375>	<437>	<500>	
				増加数	178	255	332	
				実績値	<367>	<444>	<521>	
				達成率(%)	143.5	137.1	133.9	
	189	500	達成度	5	5	5		
単位	組							
指標の説明	おかもやま出会い・結婚サポートセンターが行った支援をきっかけに成婚した数(達成率は現況値からの増加数で算出)							

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

・性格診断機能の導入など結婚支援システム「おかもやま縁むすびネット」の利便性向上に努めるとともに、結婚応援ボランティアのサポート等により、県内3カ所を拠点とするおかもやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数は、目標を上回る累計521組となった。

<1-③ 妊娠・出産の希望がかなう環境づくり>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況					
			2021	2022	2023	2024		
妊娠・出産について満足している母親の割合 	現況値 2019年度	目標値	目標値	84.3	84.5	84.8	85.0	
			実績値	84.0	85.7	86.7		
				※ <84.0>	※ <85.7>			
				達成率(%)	99.6	101.4	102.2	
		83.9	85.0	達成度	3	4	4	
単位	%							
指標の説明	産後に助産師等から指導・ケアを十分に受けることができたと感じている者の割合(速報値) ※確定値							

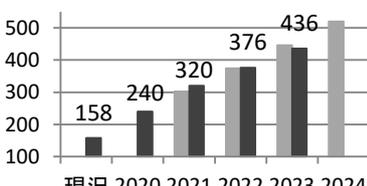
(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

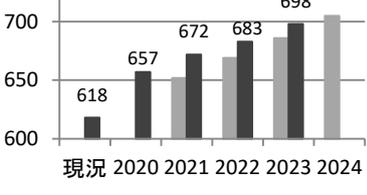
・妊娠・出産・子育て等で悩む人の相談体制の充実を図るとともに、産後ケア事業や伴走型相談支援事業等の母子保健事業の取組を強化するため、市町村や保健所等と連携し、切れ目ない母子支援の推進を図った。

・高度な医療を提供する周産期母子医療センターへの財政支援により、安定的な運営を図るとともに、関係者で構成する周産期医療協議会を運営し、周産期医療の課題改善、関係機関間の連携強化に取り組んだ。

<1-④ 子育て支援の充実>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況					
			2021	2022	2023	2024		
保育士・保育所支援センターが関わった保育所等への就職者数 	現況値 2019年度	目標値	増加数	144	216	288	362	
			目標値	<302>	<374>	<446>	<520>	
				増加数	162	218	278	
				実績値	<320>	<376>	<436>	
				達成率(%)	112.5	100.9	96.5	
	158	520	達成度	4	4	3		
単位	人							
指標の説明	潜在保育士の就職支援、保育所等の潜在保育士活用支援等に取り組む「保育士・保育所支援センター」が関わった保育所等への就職者数(達成率は現況値からの増加数で算出)							

放課後児童クラブ実施箇所数	現況値 2019年度	目標値	増加数	34	51	68	87
			目標値	<652>	<669>	<686>	<705>
	618	705	増加数 実績値	<672>	<683>	<698>	
	単位	箇所	達成率(%)	158.8	127.5	117.6	
指標の説明	保護者が昼間家庭にいない小学生の放課後等の居場所として運営されている施設の数(達成率は現況値からの増加数で算出)						
			達成度	5	5	4	

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・保育士・保育所支援センターにおいて、潜在保育士の掘り起こしときめ細かなマッチングに取り組み、累計436名の就職につながった。
- ・放課後児童クラブの実施主体である市町村に対し、運営費や整備費の補助、事業実施に係る助言等の支援を行った結果、放課後児童クラブの実施箇所数は698箇所となり、着実に成果が出ている。
- ・子どもの貧困対策の推進に係る、子どもの居場所の確保について、開設予定者に対するアドバイザーによる助言や居場所の立上げ経費の補助、民間団体間のネットワークづくりを進め、ネットワークでの情報共有や情報発信を行い、子どもの居場所の持続可能な仕組みづくりを支援し、新たな子どもの居場所の開設につながった。
- ・小児救急医療電話相談事業（#8000）で年間約20,000件の休日・夜間の相談に応じることで、保護者の不安解消等が図られた。また、小児科医等で構成する小児医療協議会を運営し、小児救急医療の体制整備に取り組んだ。

対策2 つながり築き、人を呼び込む郷土岡山づくりの推進(社会減対策)

基本目標2	つながりを築き、人を呼び込む郷土岡山をつくる
基本目標の概要	近年、東京圏への人口一極集中が全国的に進む中、本県においても転出超過は拡大傾向が続いており、特に、進学や就職による若い世代の流出が多く、この世代の流出を抑制するとともに、人材の還流を進める必要がある。また、新型コロナウイルス感染症を契機として新たな生活様式による人とのつながり方や、テレワークの普及など働き方の変化が進む中、地方移住への機運の高まりや、距離を越えて人や組織等をつなげるデジタル技術の活用拡大も踏まえ、県外から人を呼び込む取組を強化する必要がある。

1 対策

(1) 数値目標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
社会増減数(外国人を含む) 	現況値 2020年	目標値	増加数 371	671	1,071	1,572	
			目標値	<-1,200>	<-900>	<-500>	<+1>
			増加数 実績値	-3,205	-16	841	
			実績値	<-4,776>	<-1,587>	<-730>	
			達成率(%)	—	—	—	
	単位	人/年	達成度	1	1	2	
	指標の説明	県毎月流動人口調査による、(転入者数)－(転出者数) (達成率は現況値からの増加数で算出)					

(2) 検証結果

・ SNS 等での情報発信に加え、ポータルサイトでの一元的な情報提供により「晴れの国ぐらし」の魅力や相談窓口を周知し、移住者向けの空き家改修支援、移住希望者に空き家を紹介するなど、移住・定住の促進に努めた。また、若者の県内定着を進めるため、大学等と連携した合同企業説明会の開催やインターンシップの参加促進、おかやま就活サポーターである若手社員による県内就職の魅力発信などに取り組んだ。

・ 数値目標である「社会増減数(外国人を含む)」は新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行等により、日本人の転出が増加した一方、外国人の転入も大幅に増加したことから、前年度に比べ転出超過幅は縮小したが、目標値を下回った。

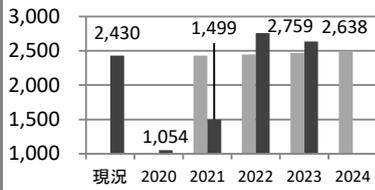
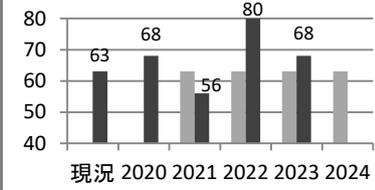
・ 重要業績評価指標(KPI)については、「移住相談件数」をはじめ、「県内大学留学生の県内就職率」、「全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生の参加者数」などで目標を達成しているが、「インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合」などは目標を達成できなかった。

・ 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行等により、再び東京圏への人口一極集中の流れが強まりつつあるが、移住希望者への情報発信や受入体制の整備を進めるとともに、若者の還流と県内への定着、郷土岡山を担う人材育成や魅力発信により、県外から人を呼び込む取組を強力に進めていく必要がある。

2 政策パッケージ

<2-① 移住・定住の促進>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
移住相談件数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	2,430	2,450	2,470	2,500
	2,430	2,500	実績値	1,499	2,759	2,638	
			達成率(%)	61.7	112.6	106.8	
	単位	件/年	達成度	1	5	4	
	指標の説明	県の相談窓口、県主催のフェア等における移住相談件数					
地域おこし協力隊の新規着任数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	63	63	63	63
	63	63	実績値	56	80	68	
			達成率(%)	88.9	127.0	107.9	
	単位	人/年	達成度	2	5	4	
	指標の説明	都市部から地方へ移住し、地域の新たな担い手として期待される「地域おこし協力隊」の県内新規着任数					

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

・ SNS等での効率的かつ効果的な情報発信に加え、ポータルサイトでの一元的な情報提供により「晴れの国ぐらし」の魅力や相談窓口を周知することにより、「移住相談件数」は目標を達成することができた。また、県空家等対策推進協議会を通じて市町村等と連携して空き家の適正管理の促進を図るとともに、県空き家情報流通システムを活用した移住希望者への空き家紹介や、移住者向けの空き家改修の支援を行った。

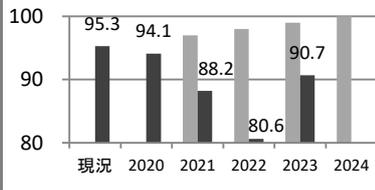
・ 「地域おこし協力隊の新規着任数」については、市町村の募集事務、処遇改善等の支援や、希望者向けにオンライン交流・相談会等を行うことにより、目標を達成した。

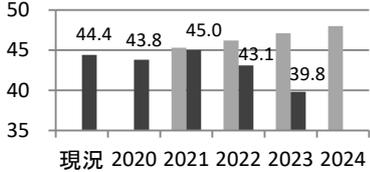
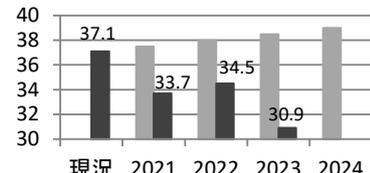
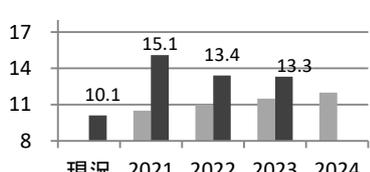
・ 実践的な研修により、職員の情報発信力を強化するとともに、県の施策を広報素材としたインターネット広告の配信などにより、目標を大きく上回るフォロワー数を達成することができた。

・ ポストコロナに対応した副業・兼業などの働き方の新しいスタイルや仕事と家庭の両立支援などを紹介するガイドブックを作成し、機運の醸成を図った。引き続き、多様な働き方に対する意識啓発を行う必要がある。

<2-② 若者の還流・定着>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合 	現況値 2019年度	目標値	目標値	97.0	98.0	99.0	100.0
	95.3	100.0	実績値	88.2	80.6	90.7	
			達成率(%)	90.9	82.2	91.6	
	単位	%	達成度	3	3	3	
	指標の説明	高校3年間でインターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合(高校3年生)					

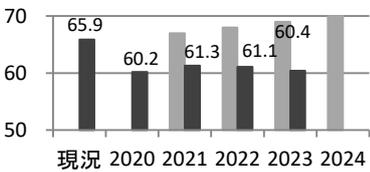
指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
県内大学新卒者の県内就職率 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	45.3	46.2	47.1	48.0
	44.4	48.0	実績値	45.0	43.1	39.8	
			達成率(%)	99.3	93.3	84.5	
	単位	%	達成度	3	3	3	
	指標の説明	県内大学新卒者の就職者数に占める県内への就職者数の割合					
本県出身の県外大学新卒者のUターン就職率 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	37.5	38.0	38.5	39.0
	37.1	39.0	実績値	33.7	34.5	30.9	
			達成率(%)	89.9	90.8	80.3	
	単位	%	達成度	3	3	3	
	指標の説明	本県出身の県外大学新卒者で就職した者のうち、県内にUターン就職した者の割合					
県内大学留学生の県内就職率 	現況値 2015～2018 年度の平均	目標値	目標値	10.5	11.0	11.5	12.0
	10.1	12.0	実績値	15.1	13.4	13.3	
			達成率(%)	143.8	121.8	115.7	
	単位	%	達成度	5	5	4	
	指標の説明	県内大学留学生の県内への就職率 ※2023年度実績は2024年12月頃に判明するため、2022年度実績により評価する。					

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・大学等と連携した合同企業説明会の開催やインターンシップの参加促進、おかもま就活サポーターである若手社員による県内就職の魅力発信等に取り組んだが、「県内大学新卒者の県内就職率」及び「本県出身の県外大学新卒者のUターン就職率」は目標に達しなかった。
- ・留学生を対象とした就職支援セミナーや県内企業との交流会のほか、県内企業向けに外国人材受け入れの法的手続き等を周知するセミナーを開催し、「県内大学留学生の県内就職率」は目標を達成することができた。
- ・ジョブフェア等を通じ、高校生に対する情報提供の機会を多く確保したことにより、インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合が大きく増加し、希望者の就職決定率を高い水準で維持できた。

<2-③ 地方創生を担う人材の育成>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(小学校6年生) 	現況値 2018年度 (2019年度調査)	目標値	目標値	67.0	68.0	69.0	70.0
	65.9	70.0	実績値	61.3	61.1	60.4	
			達成率(%)	91.5	89.9	87.5	
	単位	%	達成度	3	3	3	
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果					

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(中学校3年生) 	現況値 2018年度 (2019年度調査)	目標値	目標値	45.5	47.0	48.5	50.0
	44.1	50.0	実績値	42.2	41.6	37.5	
			達成率(%)	92.7	88.5	77.3	
	単位	%	達成度	3	3	2	
指標の説明	全国学力・学習状況調査結果						
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合(小学校6年生) 	現況値 2018年度 (2019年度調査)	目標値	目標値	57.0	58.0	59.0	60.0
	55.0	60.0	実績値	52.0	※ 78.9	※ 84.1	
			達成率(%)	91.2	—	—	
	単位	%	達成度	3	—	—	
指標の説明	全国学力・学習状況調査結果 ※「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」に質問項目が変更されたため参考値として記載し、評価対象外とする。						
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合(中学校3年生) 	現況値 2018年度 (2019年度調査)	目標値	目標値	42.5	45.0	47.5	50.0
	38.9	50.0	実績値	42.5	※ 65.7	※ 76.8	
			達成率(%)	100.0	—	—	
	単位	%	達成度	4	—	—	
指標の説明	全国学力・学習状況調査結果 ※「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」に質問項目が変更されたため参考値として記載し、評価対象外とする。						
全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生の参加者数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	658	682	706	730
			実績値	405	705	806	
	611	730	達成率(%)	61.6	103.4	114.2	
	単位	人/年	達成度	2	4	4	
指標の説明	各種コンテストへの県立高校生の参加者数						

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・全国規模のコンテストの情報を分かりやすく集約してホームページに示し、学校を通じて積極的な参加を働きかけたこと等により、各種コンテストの参加者数が増加し、チャレンジする機会を大きく推進することができた。
- ・小中学生向けコンテンツサイト「おかやまナビとサーチ」で職業紹介動画を掲載することにより、将来の夢や目標を持つ児童生徒の育成を図った。また、規範意識向上のための各種非行防止対策等を実施したが、非行率はコロナ禍前の2019年実績値を下回ったものの、目標を達成することはできなかった。
- ・小中学生の離島での自然・伝統等の体験や、大学生が地域課題解決に向けて地域と協働して行う調査・研究活動を通じて、地域に対する理解や関心、愛着心を醸成できたほか、大学生等のボランティアを地域活動へ派遣し、地域づくりへの参加を促進した。
- ・県立大学において、県内企業等で活躍する卒業生によるキャリア形成に関する勉強会の実施、県内企業等へのインターンシップの実施、副専攻「吉備の杜」による地域創生推進士の認定など学生の地元定着を目指した取組を進めた。

<2-④ 情報発信力の強化>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
全国における本県の魅力度 	現況値 2020年 (2020年夏調査)	目標値	目標値	32	28	24	20
	33	20	実績値	33	35	32	
	33	20	達成率(%)	—	—	—	
	単位	位	達成度	2	1	2	
	指標の説明	民間シンクタンク調査による47都道府県の魅力度の全国順位					
県の働きかけによる首都圏等テレビ露出の広告換算額 	現況値 2017~2019 年度の平均	目標値	目標値	20	20	26	26
	26	26	実績値	26	27	19	
	26	26	達成率(%)	130.0	135.0	73.1	
	単位	億円/年	達成度	5	5	1	
	指標の説明	首都圏等のメディアへの働きかけにより、県の情報が露出された首都圏等のテレビ番組(地上波)を広告料として換算した額					
県公式SNSのフォロワー等の数 	現況値 2019年度	目標値	増加数 目標値	38	47	56	63
	77	140	増加数 実績値	<115>	<124>	<133>	<140>
	77	140	達成率(%)	46	72	84	
	単位	千人	達成度	<123>	<149>	<161>	
	指標の説明	県の魅力発信に活用しているフェイスブック、ツイッター、インスタグラムのフォロワー数等の計(達成率は現況値からの増加数で算出)					

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・積極的な首都圏メディアへの誘致活動やSNSでの情報発信に努めたことから、「県公式SNSのフォロワー等の数」は目標を大きく上回った。「全国における本県の魅力度」や「県の働きかけによる首都圏等テレビ露出の広告換算額」は目標を達成することができなかった。
- ・「晴れの国おかやま検定」について、表彰制度や様々な広報媒体を活用したPRや特典等を充実させるなど、幅広くアピールした結果、過去最高の受験者数となった。
- ・令和5年度の首都圏アンテナショップ来館者数は約42万人で、新型コロナウイルス感染症拡大前の85%程度まで回復した。オンラインショップ運営、テイクアウトメニュー提供、近隣アンテナショップとの連携事業の実施などに継続して取り組んだ結果、売上額はコロナ前を上回る水準を達成し、県産品の販売拡大が図られた。

対策3 地域の持続的発展のための経済力の確保

基本目標3	持続的に発展できる経済力を確保する
基本目標の概要	生産年齢人口の減少や国内市場の縮小が想定される中、人手不足や市場の変化に対応する必要があるほか、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式への対応が求められている。また、若者の県内定着や、安心して結婚、出産、子育てを行うことができる安定した雇用や収入の確保のため、本県の経済を維持・発展させる必要がある。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響や、これに起因する生産拠点の国内回帰や地方への企業分散の動向を把握するとともに、企業の投資を一層促進する必要がある。

1 対策

(1) 数値目標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
従業員1人当たり売上高(生産性向上指標) 	現況値 2018年	目標値	目標値	26,100	27,300	27,700	28,600
	28,254	28,600	実績値	25,058	24,724	※ 25,179	
			達成率(%)	96.0	90.6	90.9	
	単位	千円/年	達成度	3	3	3	
	指標の説明	企業活動基本調査に基づく県内企業の売上高を従業員数で除した額 ※2023年実績は2025年6月頃に公表されるため、2022年実績により評価する。					

(2) 検証結果

- ・生産性の向上と産業の活性化の促進のため、意欲ある県内企業に対する研究開発支援や指導・助言等により、新技術・新製品開発を促進するとともに、各種展示会への出展支援等により、海外も含めて新規受注先獲得の機会を望んでいる県内企業のビジネスマッチングと取引拡大を図ったほか、フォーラムの開催や専門家派遣を行うなど、多様で柔軟な働き方の推進に努めた。
- ・数値目標である「従業員1人当たり売上高(生産性向上指標)」は、前年度までの、新型コロナウイルス感染症の影響による減少傾向からは脱したが、2023年度目標値を下回った。
- ・重要業績評価指標(KPI)については、「企業と大学との共同研究センターにおける産学連携等に向けたマッチング支援件数」をはじめ、「経営革新に取り組む中小企業・小規模事業者数」、「新規立地企業等の投資額」などで目標を達成しているが、「1人当たり年間総実労働時間」などは目標を達成できなかった。
- ・研究開発や優れた人材の育成による生産性向上に加え、企業誘致や販路の開拓・拡大などによる県内産業の活性化を推進し、併せて、働き方改革や多様な働き方の実現に取り組むことで、安定した雇用や収入など、生活基盤の確保に向けた取組を強力に進めていく必要がある。

2 政策パッケージ

<3-① 生産性向上の促進>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
企業と大学との共同研究センターにおける産学連携等に向けたマッチング支援件数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	25	50	75	100
			実績値	44	111	193	
	26件/年	100	達成率(%)	176.0	222.0	257.3	
	単位	件	達成度	5	5	5	
	指標の説明	企業と大学との共同研究センターを通じて、大学等との共同研究に向けて、マッチング支援を行った件数(目標値は2021~2024年度の累計)					
経営革新に取り組む中小企業・小規模事業者数 	現況値 2016~2019 年度の平均	目標値	目標値	100	200	300	400
			実績値	119	223	321	
	96社/年	400	達成率(%)	119.0	111.5	107.0	
	単位	社	達成度	4	4	4	
	指標の説明	中小企業等経営強化法に基づき、新事業を行い経営の向上を図ること等を目的とした経営革新計画を作成した中小企業・小規模事業者の数(目標値は2021~2024年度の累計)					
県内大学工学系学生の県内就職率 	現況値 2016~2019 年度の平均	目標値	目標値	30.6	31.0	31.5	32.0
			実績値	36.4	35.6	29.2	
	30.2	32.0	達成率(%)	119.0	114.8	92.7	
	単位	%	達成度	4	4	3	
	指標の説明	県内大学の工学系学部新卒者の就職者数に占める県内への就職者数の割合					

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・ 県内外の学生を対象に、オンラインによる職場見学や社員との交流会を開催するとともに、プロフェッショナル人材とのマッチング支援などにより、県内中小企業の人材の確保等を図った。また、企業と大学との共同研究センターを核に実施してきた、企業と大学とのマッチング、大学における共創コンソーシアム活動等を通じて、県内中小企業と大学との共同研究が増加した。
- ・ 「経営革新に取り組む中小企業・小規模事業者数」については、(公財)岡山県産業振興財団や商工団体等の支援機関と連携を図り、目標を達成することができた。
- ・ 産地の規模拡大等による供給力強化や、スマート農業技術の現地実証等による農業の生産性向上を図ると同時に、環境負荷低減に取り組む農産物のブランド化に取り組んだ。また、6次産業化に取り組む農林漁業者等への相談支援や商品開発、販路開拓など、取組段階に応じた支援に加え、デジタル技術を活用した支援を行った。

<3-② 産業の活性化>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
新規立地企業等の投資額 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	700	1,400	2,100	2,800
	850億円/年	2,800	実績値	1,106	3,249	4,343	
	単位	億円	達成率(%)	158.0	232.1	206.8	
			達成度	5	5	5	
	指標の説明	新規立地企業の投資額(目標値は2021～2024年度の累計)					
あっせん・サポート等による取引成立件数 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	275	450	505	530
	442	530	実績値	484	577	672	
	単位	件/年	達成率(%)	176.0	128.2	133.1	
			達成度	5	5	5	
	指標の説明	(公財)岡山県産業振興財団、岡山県中小企業団体中央会等が県内の受注希望企業に取引のあっせん・サポートを行い、成約に至った件数					
県融資制度に占める創業者の融資割合 	現況値 2019年度	目標値	目標値	24.5	24.6	24.7	24.8
	24.3	24.8	実績値	43.8	31.3	39.1	
	単位	%	達成率(%)	178.8	127.2	158.3	
			達成度	5	5	5	
	指標の説明	県融資制度のうち、新規創業資金の占める割合					
農林水産業産出額 	現況値 2018年	目標値	目標値	1,591	1,632	1,644	1,655
	1,533	1,655	実績値	1,538	1,614	※ 1,674	
	単位	億円/年	達成率(%)	96.7	98.9	101.8	
			達成度	3	3	4	
	指標の説明	農林水産業産出額 ※2023年実績は2025年3月頃に確定するため、2022年実績により評価する。					
観光消費額 	現況値 2015～2019 年の平均	目標値	目標値	1,300	1,600	1,600	1,750
	1,737	1,750	実績値	1,134	1,673	2,209	
	単位	億円/年	達成率(%)	87.2	104.6	138.1	
			達成度	3	4	5	
	指標の説明	観光入込客の消費総額					

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・「新規立地企業等の投資額」については、企業の旺盛な投資意欲が継続しており、新規立地企業等の県内投資額については、目標を大きく上回る結果となった。また、カーボンニュートラルの具体的な取組を検討するため、関係企業や行政機関等で構成された部会を新設し、定期的に開催するとともに、水素需要調査を実施した。
- ・意欲ある県内企業に対する研究開発支援や指導・助言等により、新技術・新製品開発を促進するとともに、海外向け大規模展示会への出展支援等により、海外での販路開拓・拡大にも貢献した。また、新規創業者の発掘・育成から事業継続までトータルサポートを実施するとともに、女性の創業や地域課題解決を目指した起業を支援することで、創業の促進を図った。
- ・果実の産出額は前年度比で減額となったものの、主食用米の需給状況が改善したことや、主要野菜の単価の上昇によって、農業では増額となった。林業では、木材生産量の減少によって減額となり、水産業では、主に単価の高騰によって増額となった。令和4年農林水産業産出額全体では、前年度比60億円増の増額となった。
- ・おかやま夏旅キャンペーンの開催による誘客効果や、インバウンドが回復基調にあることなどから、「観光消費額」は前年より増加し、コロナ禍前を上回り、目標を達成することができた。

<3-③ 働き方改革の推進>

(1)重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況					
			2021	2022	2023	2024		
1人当たり年間総実労働時間 	現況値 2019年	目標値	目標値	1,735	1,718	1,701	1,684	
			実績値	1,735	1,728	1,732		
		1,771	1,684	達成率(%)	100.0	99.4	98.2	
	単位	時間	達成度	4	3	3		
	指標の説明	事業所規模30人以上の1人当たり年間総実労働時間数						
女性の生産年齢人口に対する常用労働者の割合 	現況値 2019年	目標値	目標値	61.3	62.3	63.5	64.7	
			実績値	64.1	64.4	65.7		
		62.4	64.7	達成率(%)	104.6	103.4	103.5	
	単位	%	達成度	4	4	4		
	指標の説明	女性のうち、生産年齢人口(15~64歳)に対する常用労働者(期間を定めずに、又は1カ月を超える期間を定めて雇用されている者)の割合						

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

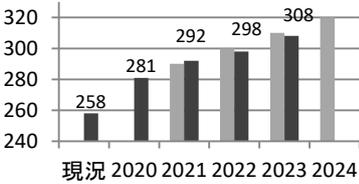
- ・多様で柔軟な働き方を推進するフォーラムや、勤務間インターバル制度について企業向けオンライン研修を開催した。「1人当たり年間総実労働時間」は目標には達しなかったことから、引き続き多様な働き方に向けた企業の取組を支援する必要がある。
- ・企業向けの研修会や女性向けの交流会、企業への専門家派遣、男性の家庭生活参加促進セミナーなどの実施により、男女共同参画に対する意識の醸成を図るとともに、企業における男女が共に働きやすい職場環境づくりを支援し、「女性の生産年齢人口に対する常用労働者の割合」の目標達成につなげることができた。
- ・障害のある人の就労、生活の両面をサポートする障害者就業・生活支援センターを核とし、雇用と福祉が連携した取組を推進した結果、一般就労への移行者数は着実に増加している。就労定着支援にも重点的に取り組み、障害のある人の就労を一体的に支援した。

対策4 地域の持続的発展のための活力の維持

基本目標4	地域の活力を維持する
基本目標の概要	人口減少や高齢化の進行により、生活サービス産業や公共交通の撤退、住民組織の担い手不足など、地域社会の活力が失われつつある中、引き続き地域で安心して暮らしていくため、小さな拠点の形成促進、集落機能の維持・確保、地域住民自らが地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する仕組みづくりの推進、道路環境の整備などが必要である。

1 対策

(1) 数値目標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する地域運営組織の数 	現況値 2019年度	目標値	増加数 目標値	32	42	52	62
	258	320	増加数 実績値	34	40	50	
	達成率(%)			106.3	95.2	96.2	
	単位	組織	達成度	4	3	3	
	指標の説明	集落機能の維持・強化に向け、地域で暮らす人々が中心となって、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織の数(達成率は現況値からの増加数で算出)					

(2) 検証結果

- ・地域の活力の維持に向けて、地域運営組織の多様な活動の核となる拠点施設の整備を支援したほか、交通難所の改善を推進した。また、自主防災活動の重要性の啓発、自主防災組織の中核となる防災リーダーの養成、犯罪発生状況の分析に基づく各種犯罪抑止対策の推進による安全・安心な地域づくりに取り組んだ。
- ・数値目標である「地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する地域運営組織の数」は、目標は達成できなかったが、人口減少や高齢化が進行する中で地域の生活や暮らしを守るため、市町村においても地域運営組織の設立・充実を図る気運が高まっており、市町村の地域運営組織設立等に向けた取組が円滑に進むよう、4市町に対して地域支援体制整備等を支援した。
- ・重要業績評価指標（KPI）については、「集落生活圏を維持するための小さな拠点の形成数」をはじめ、「地域おこし協力隊の新規着任数」、「農家民宿延べ宿泊者数」などで目標を達成しているが、「地域の拠点性を高めることにつながる交通難所改善箇所数」などは目標を達成できなかった。
- ・人口減少や高齢化が進行する中であっても、地域の特性を踏まえた拠点機能の維持・強化に取り組むとともに、地域社会の活性化、地域の防災力強化及び地域医療・福祉の確保を図ることで、すべての人が安心して暮らし続けることができる活力ある地域づくりを強力に進めていく必要がある。

2 政策パッケージ

<4-① 拠点機能の確保>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
集落生活圏を維持するための小さな拠点の形成数 	現況値 2019年度	目標値	増加数	4	6	8	9
			目標値	<40>	<42>	<44>	<45>
	36	45	増加数 実績値	5	11	12	
			達成率(%)	<41>	<47>	<48>	
	単位	箇所	達成度	125.0	183.3	150.0	
指標の説明	集落生活圏を維持するため、日常生活に必要なサービス機能の維持・確保を図る小さな拠点の形成数(達成率は現況値からの増加数で算出)						
地域の拠点性を高めることにつながる交通難所改善箇所数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	50	100	150	200
			実績値	46	97	149	
	47箇所/年	200	達成率(%)	92.0	97.0	99.3	
	単位	箇所	達成度	3	3	3	
	指標の説明	拠点的地域等の機能強化や日常生活の利便性向上につながる交通難所改善箇所数(目標値は2021~2024年度の累計)					

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

・地域の特性を踏まえた拠点機能の強化のため、拠点形成計画作成の段階から地域運営組織及び町に対する支援を行い、策定された計画に基づき多世代の住民の交流や地域運営組織の多様な活動の拠点となる施設の整備を行った。「集落生活圏を維持するための小さな拠点の形成数」は累計48箇所と目標を達成することができた。

・地域の生活を支える道づくりでは、すれ違いが困難な箇所などの交通難所を累計149箇所改善し、中山間地域等の拠点的地域の機能強化に取り組んだ。また、道の駅における地方創生の拠点としての取組では、利便性向上のため、ベビーコーナーの設置を市町村へ働きかけた。

・拠点間を結ぶ広域的・幹線的なバス路線等を、国、市町村、事業者と役割分担しながら維持・確保するとともに、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に取り組む市町村を支援したことで、地域公共交通の維持・確保に向けた取組が進んだ。

・持続可能な都市づくりの促進では、集約型都市構造の実現に向けたまちづくりに取り組む市町に対し、国の支援制度や先進事例の紹介などの必要な助言を行い、令和5年度までに10市町が立地適正化計画等を策定するなど「拠点機能の確保」に寄与した。

<4-② 地域社会の活性化>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
地域おこし協力隊の新規着任数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	63	63	63	63
			実績値	56	80	68	
	63	63	達成率(%)	88.9	127.0	107.9	
	単位	人/年	達成度	2	5	4	
	指標の説明	都市部から地方へ移住し、地域の新たな担い手として期待される「地域おこし協力隊」の県内新規着任数					

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
農家民宿延べ宿泊者数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	2,100	3,300	4,600	6,000
			実績値	3,928	5,513	5,609	
	4,986	6,000	達成率(%)	187.0	167.1	121.9	
	単位	人/年	達成度	5	5	5	
	指標の説明	「晴れの国おかやま農家民宿」における延べ宿泊者数					
おかやま県民文化祭の主催・参加プログラム件数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	179	182	186	190
			実績値	173	179	174	
	176	190	達成率(%)	96.6	98.4	93.5	
	単位	件	達成度	3	3	3	
	指標の説明	2003年から毎年開催されている県民総参加の文化の祭典「おかやま県民文化祭」の主催・参加プログラム件数					

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・地域おこし協力隊の活用促進のほか、おかやま元気！集落制度による集落機能の維持・確保に向けた地域の自主的な取組の支援、市町村の地域支援体制整備の支援、ボランティア派遣等による地域づくりへの民間参加の促進等に取り組み、目標を達成することができた。また、多言語による生活相談・情報提供のほか、日本語講座の開設等を通じた多文化共生の地域づくりを推進した。
- ・インバウンド受け入れのノウハウや運営のコツを学ぶ講座を開催するなど、農家民宿の魅力向上に取り組む地域等を支援した。また、地域資源の再発見や掘り起こしを行い農家民宿を中心とした周遊モデルプランを作成して、モニターの大学生にその良さをSNSで発信してもらうことにより、農山漁村地帯への誘客を図った。
- ・「おかやま県民文化祭の主催・参加プログラム数」の目標は未達成であったが、市町村や岡山県文化連盟をはじめとする文化関係団体等と連携し、地域資源を活用した各種文化芸術イベントを展開することで文化による地域の活性化を図った。
- ・障害のある人もない人も共に支え合う共生社会を実現するため、必要な障害福祉サービス等の確保や障害特性に応じた就労への支援を行うとともに、障害のある人のアートギャラリーや障害者スポーツ教室を開催した。また、高齢者の生きがいがいづくりと社会参加活動の促進等に向けて、社会貢献や健康づくりなどに主体的に取り組む老人クラブの活動を支援した。

<4-③ 安全・安心な地域づくり>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
自主防災組織率 	現況値 2020年4月	目標値	目標値	88.7	90.2	91.7	93.0
			実績値	87.9	87.9	88.3	
	87.2	93.0	達成率(%)	※ <88.0>	※ <87.8>		
	単位	%	達成度	3	3	3	
	指標の説明	管内世帯数に占める自主防災組織が活動範囲としている地域の世帯数の割合(速報値) ※確定値					

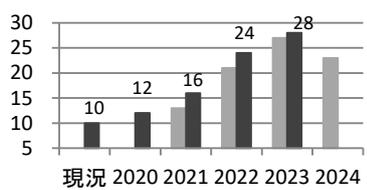
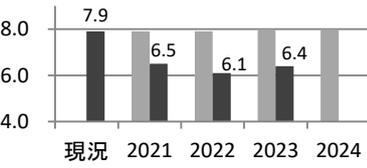
指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
河道内整備の実施延長 	現況値 —	目標値	目標値	55	75	90	100
	—	100	実績値	53	78	94	
	—	100	達成率(%)	96.4	104.0	104.4	
	単位	km	達成度	3	4	4	
	指標の説明	土砂堆積や樹木繁茂により流水が阻害されている箇所のうち、優先度が高く対策が必要な箇所の河道内整備の実施延長					
刑法犯認知件数 	現況値 2019年	目標値	目標値	9,249	9,157	9,065	9,000
	9,436	9,000	実績値	7,535	8,007	9,230	
	9,436	9,000	達成率(%)	122.7	114.4	98.2	
	単位	件／年	達成度	5	5	3	
	指標の説明	警察において発生を認知した刑法犯事件の数					
人身交通事故件数 	現況値 2019年	目標値	目標値	4,100	3,800	3,500	3,300
	4,690	3,300	実績値	4,683	4,348	5,161	
	4,690	3,300	達成率(%)	87.6	87.4	67.8	
	単位	件／年	達成度	3	3	2	
	指標の説明	警察において発生を認知した、人の死亡又は負傷を伴う交通事故の数					

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・市町村と連携し、自主防災活動の重要性を県民に啓発するとともに、自主防災組織の中核となるリーダーの養成に取り組んでおり、自主防災防災組織率は目標値91.7%に対し、実績値88.3%となっている。
- ・河道内整備の実施について、総延長94kmの整備を行い、目標を達成することができた。引き続き、効果的、効率的に河道内整備に取り組み、「安全・安心な地域づくり」につなげる。
- ・分析に基づく抑止対策を推進した結果、交通事故死者数は49人と、昭和23年以降で2番目に少ない数となった。一方で、刑法犯認知件数と人身交通事故件数は、コロナ禍の収束に伴う行動制限撤廃等の影響もあり、前年比で増加に転じ、目標を達成することはできなかった。
- ・水害、高潮・津波、土砂災害、大規模地震発生に備え、特に重要な緊急輸送道路上の橋梁の耐震化、護岸等の整備などに取り組んだ。また、空き家の適正管理、利活用の推進では、空き家の除却に取り組む市町村を支援したほか、利活用については、コーディネーターの派遣等により新たな地域の取組を推進した。

<4-④ 医療・福祉の確保>

(1)重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
県内の医師不足地域の医療機関に勤務する地域卒卒業医師数 	現況値 2020年4月	目標値	目標値	13	21	27	23
	10	23	実績値	16	24	28	
	単位	人	達成率(%)	123.1	114.3	103.7	
	指標の説明	県の医師確保対策として岡山大学及び広島大学の医学部医学科に設置している地域枠コースを卒業し、県内の医師不足地域の医療機関に勤務する医師の数					
	達成度	5	4	4			
介護予防のための通いの場への参加率 	現況値 2019年度	目標値	目標値	7.9	7.9	8.0	8.0
	7.9	8.0	実績値	6.5	6.1	※ 6.4	
	単位	%	達成率(%)	82.3	77.2	80.0	
	指標の説明	介護予防等を目的とした「通いの場」への高齢者の参加率 ※2023年度実績は2025年4月頃に公表されるため、2022年度実績により評価する。					
	達成度	3	2	3			

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・地域医療支援センターがマッチングを行い、目標を上回る28人の地域卒卒業医師が県内の医師不足地域の医療機関で勤務することとなった。また、地域医療調整会議で承認を得た施設整備を支援し、病床転換などを進めた。
- ・「介護予防のための通いの場への参加率」については、感染症予防のために参加を控える高齢者が増加したこと等により、目標値を達成することができず6.4%に留まったが、前年度の6.1%から回復している。
- ・介護職場認証評価制度の実施により、働きやすい職場環境づくりに取り組む事業所の認証を行い、確認した取組内容を公表することで、事業所の切磋琢磨を促し、福祉・介護業界全体のレベルアップ、福祉・介護職員の定着、求職者に選んでもらえる職場づくりを進めた。

基本目標の数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の類型と評価

類型	評価の考え方	達成度の評価基準
実数又は割合で示す指標	<p><計算方法> 達成率＝実績値／目標値</p> <p>削減目標の場合 達成率＝目標値／実績値</p>	<p>5：達成率が120%以上 4：達成率が100%以上120%未満 3：達成率が80%以上100%未満 2：達成率が50%以上80%未満 1：達成率が50%未満</p> <p><達成率が上限100%の場合> 5：達成率が100% 4：達成率が90%以上100%未満 3：達成率が70%以上90%未満 2：達成率が50%以上70%未満 1：達成率が50%未満</p>
全国順位で示す指標	<p>効果的な取組により、現状の改善と目標の達成が求められるものであるから、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標より上位となった場合 5 ・目標を達成した場合 4 ・現状を維持した場合 2 <p>として評価する。</p>	<p>5：目標値より上位 4：目標値 3：目標値と現況値の中間値以上 2：現況値以上 1：現況値より下位</p>
<p>実数で示す指標のうち、現況維持に意義があり、現況値に対する最終目標値の増減割合が極めて小さい指標</p> <p>（最終目標値／現況値が0.9以上1.1以下）</p>	<p><計算方法> 達成率＝実績値／目標値</p> <p>削減目標の場合 達成率＝目標値／実績値</p>	<p>5：達成率が110%以上 4：達成率が100%以上110%未満 3：達成率が90%以上100%未満 2：達成率が80%以上90%未満 1：達成率が80%未満</p>